

かしま 議会だより

第118号

令和6年6月定例会号

令和6年8月発行

発行／鹿島市議会 編集／議会だより編集委員会

〒849-1312 佐賀県鹿島市大字納富分2643番地1 TEL63-2104 FAX63-2314



中木庭ダムのあじさい（能古見地区振興会提供）

6月定例会	P2～P3
全国市議会議長会 表彰	P3
議案審議	P4～P7
一般質問（11名）	P8～P13
議会あれこれ／議長交際費	P14



鹿島市のホームページも
ご覧ください。

鹿島市議会

検索

70th
Anniversary
KASHIMA

2024年は鹿島市制施行70周年



鹿島市公式アカウント
でのひら市役所



いますぐ友だち追加！

定例会

鹿島市議会
令和6年6月定例会 会期日程

1、会期
自 令和6年6月7日
至 令和6年6月26日

2、日程

【6月】

7日・開会

・会議録署名議員の指名

・会期の決定

・議案の一括上程（市長の提案理由説明）

8日・休会

9日・休会

10日・休会（議案研究）

11日・休会（議案研究）

12日・休会（議案研究）

13日・議案審議、質疑、討論、採決

14日・休会（議案整理）

15日・休会

16日・休会

17日・休会（議案整理）

18日・休会（議案整理）

19日・一般質問（3名）

20日・一般質問（3名）

21日・一般質問（3名）

22日・休会

23日・休会

24日・一般質問（2名）

25日・休会（議案整理）

26日・議案審議、質疑、討論、採決

・閉会

○・・・賛成 ×・・・反対 退・・・退席 欠・・・欠席

全国市議会
議長会表彰



5月22日、全国市議会議長会 第100回定期総会におきまして、鹿島市議会から中村和典副議長が議員10年表彰を受けました。

次のことを審議し決定しました

【令和6年6月定例会】

		釘尾勢津子	宮崎幸宏	笠継健吾	中村日出代	池田廣志	杉原元博	樋口作二	中村一堯	松田義太	勝屋弘貞	角田一美	伊東茂	福井正	松尾征子	中村和典	徳村博紀	採決結果	
議案第25号	専決処分事項の承認について（鹿島市税条例の一部を改正する条例）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	賛成全員	可決
議案第26号	専決処分事項の承認について（鹿島市国民健康保険税条例の一部を改正する条例）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	議長	賛成多数	可決
議案第27号	鹿島市印鑑条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	賛成全員	可決
議案第28号	鹿島市手数料条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	賛成全員	可決
議案第29号	鹿島市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	賛成全員	可決
議案第30号	令和6年度鹿島市一般会計補正予算（第1号）について	○	×	○	×	○	○	○	○	×	○	○	×	○	×	○	議長	賛成多数	可決
修正動議	議案第30号「令和6年度鹿島市一般会計補正予算（第1号）」の修正案	×	○	×	○	×	×	×	×	○	×	×	○	×	○	×	議長	賛成少数	否決
議案第31号	佐賀県後期高齢者医療広域連合規約の変更に係る協議について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	賛成全員	可決
議員提案第2号	鹿島市議会基本条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	賛成全員	可決
議員提案第3号	鹿島市議会会議規則の一部を改正する規則の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	賛成全員	可決

議案第30号 「令和6年度鹿島市一般会計補正予算（第1号）」の修正動議

修正動議を地方自治法（昭和22年法律第67号）第115条の3及び鹿島市議会会議規則（昭和47年議会規則第1号）第16条の規定により提出する。

本修正案は、中心商店街の空きビルを活用し、サテライトオフィスを誘致する事業について、不備な点が多く、事業の進め方を見直すべきと考え、令和6年度一般会計補正予算に計上されているサテライトオフィス等の開設に係る経費を減額するため、予算の一部を修正するものである。

令和6年6月13日提出 発議者 伊東 茂
賛成者 中村日出代

議案審議

修正動議のサテライトオフィス誘致事業について

質問者 中村 一堯

発議者に対しての質問

中心商店街の空洞化問題を解決できるサテライトオフィス事業は進めるべき。この事業を議会で否決した場合は、鹿島市が企業誘致に取り組まないというメッセージを国や県に与えることになる。伊東議員の過去の一般質問でも企業誘致を推進すべき発言をされているが、今回は企業誘致事業に反対している。その政治姿勢をどう考えているか。

発議者の答弁

確かにこれまでに何回も一般質問で企業誘致について取り上げている。しかし、このままこの事業を進めて、市民の理解が得られるのか。公正、公平に事業を進めなければならない。

令和6年度一般会計補正予算（第1号） 審議 討論

賛成討論

笠継 健吾 議員

修正動議について反対であり、原案について賛成である。

近隣市町が新幹線開通で活気づく中、鹿島の将来がどうなるのか閉塞感がある。今回の鹿島市商店街の中心部の空きビルを一企業が取得、企業誘致のためサテライトオフィスの開設事業として、補正予算に計上されている。

鹿島市商店街の発展、活性化は市民が望むところである。企業誘致がなかなか進まない中で商店街中心部の空きビルのシャッターを上げ、事務系のオフィスを誘致できることは、このチャンスを見逃さず実行することが必要であり、原案に賛成する。

杉原 元博 議員

少子高齢化・人口減少が進む中、街の活性化は不可欠。約二年半空き店舗になっていた旧伊東時計店のビルを活用し、中心商店街活性化の為「デジタル田園都市国家構想交付金」採択に向け、市はスピード感を持って取り組んで来た。街おこしの為、民間の方より提案があり、市の思惑とマッチングした訳で、公平性は担保されている。駅前整備事業と併せ、鹿島市の今後の賑わい創出、定住・関係人口増加、雇用創出など計り知れない効果がある。サテライトオフィス・企業誘致を行う事で、人口増・税収増に結びつく利点もある。事業の成功と今後の誘致活動に道筋をつけてもらうよう期待を込め、後押し

反対討論

宮崎 幸宏 議員

サテライトオフィス等開設支援事業対象である民間施設（現空きビル）の選定において、同じ他の空き店舗等所有者や活性化を共に行うべき中心商店街に対する説明がなく、関係者の「合意形成」がなされていないことは公的手続きを行う上で公正性がとられていない。

また、本件に関して佐賀県の介入や本民間施設所有者からの申入れがあったこと、本民間施設を対象にデジタル田園都市国家構想交付金を申請することについて、市議会に対する情報開示がなく、透明性ある手続きとなっていない。

加えて、本件事業補助金の一部に関して、補助金を支出する根拠が無い

補正予算が計上されている。

よって、本件事業にあたっては、市民特に対象となる中心商店街や同じ空き店舗等所有者の「合意形成」を取ったうえで進めるべきと考え、本議案に対して反対し、修正動議に対して賛成する。

松尾 征子 議員

修正動議には賛成。事業自体は問題だとは思わない。今回の事業は昨年11月ごろから取り組みが始まっている。しかし、議会には今回補正予算が提出されるぎりぎりまで情報を知らされていなかった。

議会無視、市民無視は許されるものではない。議員として市民に十分知らせる責任がある。許せない。説明が無かった理由として市長は「相手があつたから」との答弁。相手があるから余計知らせるべきだった。今回他

議案第30号

令和6年度一般会計補正予算（第1号）について



松尾 征子 議員

質問 商工費サテライトオフィス事業補助金の問題について、事業費64,067千円。これだけ国から交付金などが

ある新しい事業についてぎりぎりまで、議会に対して報告など全くあつてない。議会無視、市民無視で事業が進められてきた。なぜ議会に報告されずに進められてきたのか。

答弁 工場系の企業誘致はなかなか厳しいものがあつた。11月末市内業者の方と県の方が市に現れ

議案第30号 令和6年度一般会計補正予算（第1号）について



福井 正 議員

質問 新町さくら通りにある元伊東ビル現モードビルは築約40年のビルだが、約5千万の予算をかけ改修する目的は。

答弁 ビルに県外企業が入居されることで、交流人口拡大、若年人口転出抑制と地域経済の活性化につなげる。1階をワーキングスペースとカフェを併設し通行人等がくつろげ、お茶などが飲める空間とし2階3階をオフィスとして入居してもらい、定住人口増を図る



計画である。

議案審議

議案第30号

令和6年度一般会計補正予算（第1号）について



中村日出代議員

質問一 このビルは昭和44年5月30日に新築されそれから54年経過している。このビルは競売で落札された、落札額は。

答弁 競売についてはある程度金額の話しは聞いている。具体的な金額は確認していない。

質問二 予算を確保して要綱を作って申請を受けてその要綱に適した人に交付する。現在交付する人がすでに決まっている。決定した過程も無い、決定の書類も無い。口約束

で交付金の申請は出来ない。国には口約束だけで申請したのか。

答弁 申請書を作成しなければならぬので県を通じて国、事業者と協議しながら進めている。

議案第30号

令和6年度一般会計補正予算（第1号）について



宮崎 幸宏議員

質問 サテライトオフィス等開設支援事業補助金54,000千円の内の鹿島市上乗せ分9,000千円※の支出と本民間施

設所有者の本件事業費負担割合20%の根拠は？

※5/29全員協議会説明の「鹿島市企業誘致推進基盤整備事業補助金」には該当しない

件事業費の80%分を鹿島市補助金として負担）を決定している。

議案第30号

令和6年度一般会計補正予算（第1号）について



杉原 元博議員

質問一 デジタル実装タイプ地方創生テレワーク型の採択に伴い、サテライトオフィス等整備事業が予定されているが、採

択の要件は。

答弁 鹿島市は今回高水準タイプに採択された。要件は、2027年度末のサテライトオフィス等を利用する企業の内、県外の企業が3社以上、県外の利用者数の割合が5割以上で、事業開始からの移住者が鹿島市の場合、3人以上となっている。

質問二 今回、デジ田交付金が採択になった自治体は全国でどれ位あるのか。

答弁 採択された自治体は全部で20団体。自治体運営施設整備が6団体、民間運営施設開設支援が鹿島市を含め14団体。20団体の内、9団体が高水準タイプとなっている。

知書に記載されている。

議案第30号

令和6年度一般会計補正予算（第1号）について



笠継 健吾議員

質問一 社会福祉総務費の中で調整給付金185,600千円はなにか。

答弁 物価高騰対応重点

支援地方創生臨時交付金で国庫補助があったものであり、定額減税補足給付金を行う金額である。

質問二 減税給付金を給付される対象者は鹿島市で何名程になるか、通知はどうするのか。

答弁 対象者は納税者で、約5,800名程であり、郵送する集合徴収納税通

議案第30号

令和6年度一般会計補正予算（第1号）について



角田 一美議員

質問一 サテライトオフィス等企業誘致の実現性はあるのか。いつまで誘致すればよいのか。

答弁 工事完了次第入所

希望が1社ある。興味を示して頂いている事業所もいくつかある。2027年までに県外から少なくとも3社の誘致が必要。プロモーション事業等を通じて進めていく。

質問二 地域再生エネ事業の調査・検討業務委託の業務内容は。

答弁 鹿島市で生み出さ

れた再生可能エネルギー電力を使用し電気料金が市内で循環していく電力の地産地消の仕組みを構築するもので官民連携の新電力会社の設立のための事業スキームと採算性等を検証する。

議案第30号

令和6年度一般会計補正予算（第1号）について



松田 義太議員

質問 デジタル田園都市国家構想交付金を活用し、企業誘致対策事業（サテライトオフィス等整備事業含む）として、企業誘

致の促進、中心商店街の空き店舗解消など理解できるが、今回の整備事業は、公共施設活用ではなく、民間施設のオフィス改修等補助である。財源は国3671万円、市約2735万円が計上されている。民間事業者への補助金活用の場合は、透明性、公平性の観点、選

定方法などより一層丁寧な説明が求められると思うが説明は十分だったのか。

答弁 手続き等については不備はない。議会の指摘については真摯に受け止め、今後の事業展開の参考にした。

議案第30号

令和6年度一般会計補正予算（第1号）について



伊東 茂議員

質問 この事業は中心商店街の空きビルを活用してサテライトオフィスを誘致する事業である。中心商店街の活性化を目的

に改修費含め事業費は64,067千円。建物は築50年以上の老朽化した建物、耐震基準を満たしていない。鹿島駅周辺には他にも空きビルがあるにも関わらず一般公募もせず事業を進め市民に対して公平・公正な事業の進め方とは言えない。事業の進め方に不備があ

り、市政をチェックする議員として容認できない。

答弁 県と協議の上、計画書を国に提出し採択された。スピード感を持ち事業を進めた。

議案第30号

令和6年度一般会計補正予算（第1号）について



中村 一堯議員

質問 鹿島市の中心商店街で2年半空き店舗だった、商店街で最も目立つ場所（旧伊東時計店）に企業誘致するこの事業を

佐賀県庁企業立地課や国と協力して進めるべきである。進められない場合は佐賀県との関係が弱体化する。この事業で、一部の議員が指摘している事務手続きに問題があったのか。正式な手続きで事業を進めているか。

答弁 事業の手続きは適正に行なっている。議会

への説明も庁議で協議し、しかるべき時期に行った。今後、サテライトオフィス事業を進める際は公募をかけて丁寧に進めていくようにする。

議案審議

一般質問に11人が登壇しました

一般質問のYouTube動画配信！

6月19日、20日、21日、24日に行われた一般質問のYouTube動画を観ることができます。

【6月19日】



福井 正 議員
松尾 征子 議員
釘尾 勢津子 議員

【6月20日】



杉原 元博 議員
笠継 健吾 議員
中村 日出代 議員

【6月21日】



樋口 作二 議員
伊東 茂 議員
池田 廣志 議員

【6月24日】



松田 義太 議員
宮崎 幸宏 議員



松尾 征子 議員

学校給食費の

無償化は市長の決断で

質問一 学校給食費の無償化について、これまで教育長は「給食費を無料にすれば他の教育費の予算が少なくなるので今はやれない」という発言をされてきた。教育長には、今子供がどのような立場にあるのか、どのような生活をしているのか、この子供たちに何をしなくてはいけないかこれから社会を担っていく子供たちを育てていくトップとしての思いやりと責任がない。文科省の発表にもあるように、無償化を取り組む自治体は増えている。鹿島市も早急にやるべき。

の支援については今後子育て支援の項目の中で考えていくことになるかと思う。

質問二 財政の問題もあるだろうが今子供たちのために何をやるのか少子化対策なんて口先だけではだめだ市長のお答えを。

答弁 二つの問題があると思う、財政の問題、継続的に続くのかということ。全国の子供が平等に食べられるのが基本。本当に困った世帯に何かの手立てをしていかなければならない。基本的には国がやってもらうこと。市長会などにも要求している。

答弁 給食センターの維持管理は市が負担。食材については保護者負担。令和4・5年度は食材の高騰分を地方創生交付金で。6年度は市の単独で1千7百万支出。給食費

質問三 財政が問題だといわれているが、市は他に思わぬ金を支出されている。この問題は市長の決断で出来る問題。子供の医療費無料化を私は50年くり返し取り上げ中学



釘尾 勢津子 議員

教職員の

働き方改革について

質問一 ICT教育導入（一人一台学習用PC）について

答弁 佐賀県学習状況調査を用いた結果によると、国語や算数（数学）で年度毎に若干の上下はあるものの、導入前後で優位な差は見られなかった。県内外他市町も一人一台学習用PCを導入しているため、全国的に学力が向上している可能性はあるが文科省からそのような報告はあっていない。鹿島市小中学生のインターネットの安全利用に関する指針【2024年1月改定】周知徹底のために、学校運営協議会で取組みを考えている。

質問二 部活動の地域移行について。

答弁 鹿島市では、部活動の地域移行に向けて令和4年度から定期的に部活動検討委員会で協議を



福井 正 議員

これからの鹿島市の

人口推移について

鹿島市の人口問題について

答弁 平成16年小学生数は2,200人から26年約500人減少し、1,500人となる。対策を考えていく。

質問三 子供たちの食事の現状と対策は。

答弁 食事は、まず大人と一緒に食事が食事改善につながる。食育として朝食を食べることを目標として令和2年の84%を91%にすることを目指す。

人口減少が鹿島の産業への影響について

質問 人口減少が鹿島市の産業への影響について。人口減少は労働者の減少となり、産業の衰退につながる。様々な業種に影響がある。後継者不足で廃業もありうる。鹿島市の対策は。

質問二 少子化が学校・幼稚園・保育園への影響は。

答弁 少子化対策として、出生時に、出産一時金50万円支給している。不足する場合に国保で47,600円支給する。誕生プレゼントとして檜のフォトフレームを贈呈する。

答弁 商工会議所とも連携し、若者・人材不足に対処していく。鹿島市の



鹿島市企業説明会

企業についてご存じない高校生や親御さんに、鹿島市の企業を知ってもらう企業説明会を行っている。県外企業の進出にも取り組んでいる。



市道29号大広木～矢答線

めの試みを検討するなど、出来ることから取り組んでいる状況だ。

質問三 市道29号大広木～矢答線の道路整備について

答弁 すぐに全体的補修は困難であるが、交通に危険な箇所は早急に補修を行いたいと考えていると共に、要望の箇所は引き続き年次計画に計上し対応をする。



杉原 元博 議員

鹿島市の災害対策について

質問一 一年間で最も豪雨災害が発生しやすいこの時期、どのように対策を講じるのか。

答弁 防災パトロール、災害備蓄品の確認・補充、排水機場のポンプ点検、避難所を運営する地区対策部の調整会議、更に消防団による水防訓練も実施している。

質問二 災害に対する職員の研修や市民への啓発について聞く。

答弁 気象台から講師派遣に応じてもらっている。市民への啓発は、市報に掲載し、各地区の区長会での情報提供、自主防災組織の訓練や出前講座による研修等行っている。

質問三 平時と非常時の局面の垣根を取り払う新発想の防災「フェーズブリー」について。

答弁 平常時に役立つものがそのまま災害時に活用できるという考え方で、施設だけでなくご家庭でもできるのを参考にしていただけたらと思う。

用できるという考え方で、施設だけでなくご家庭でもできるのを参考にしていただけたらと思う。

増え続ける空き家対策について

質問一 最近の空き家の状況について聞く。

答弁 現状775戸。不良度の観点からAとDランクに分類。Dランクの倒壊の可能性があるなど、現況のまま利用不可能が54戸。

質問二 老朽化し倒壊の恐れのある空き家、景観の悪化など悪影響を地域

に及ぼす恐れのある空き家対策について聞く。

答弁 今年度より鹿島市空き家対策総合支援事業を創設。そのメニューの中に空き家除去支援事業を設け対策を進める。また、空家法の一部改正に伴い管理不全空き家等についての措置が加わり対策の強化が図られた。

質問一 寄付額の状況、返礼品の状況はどうか。

答弁 令和5年度の寄付額は約10億7千2百万円と初めて10億円を突破した。返礼品は1,415品目、人気の返礼品は「野菜の詰め合わせ・牛肉・豚肉・海苔・みかん」などである。

質問二 20市町の中では、まだ後順位である。更なる増額に向けた取組みはどうか。

答弁 返礼品充実に向け委託業者と検討を行い、返礼品提供業者に訪問している。

質問一 乗車実績はどうか。

答弁 令和6年度になり、月平均利用者数139人、1便平均乗車数1.7人である。

質問二 良い点は出発も帰りも、家まで来る。しかし降りる場所が少なく不便である。駐車場の増加や自由に降車ができるか。帰りの便を1便増やせないか。

質問一 取組みの状況はどうか。

答弁 令和4年度に部活動移行の状況について



中村 日出代 議員

市長の権限について

質問 13日の議案審議の際サテライトオフィス等開設支援事業6,406万7千円の補正予算審議で鹿島市政70年長い歴史の中で初めて予算削減修正動議が提出された。提出理由は、13日の議案審議質疑の過程で同事業の計画が鹿島市のホームページ等に公表されていない。他の同じ業者が同事業の存在を知らない。「不公平」空きビル、運営企業の選定過程が「不透明」選定決定書類等の書類が確認できない。「不明確」このような執行部からの答弁を受け、この補正予算には信頼性が無いと判断した。市長は絶大な権限を有しているがこそ市民から公平性と透明性に疑念を生じさせる予算の提出はできないのではないのか。補正予算審議を見ていた市民が

市長の市政運営に信頼を築いているのか。市長の認識を。

答弁 事業がどういようものか、予算規模がどうかを庁議で話しあった。議会に報告する時期については透明性が得られないという事である。6月議会直前になってとご批判を受けるが内容を練った上でお示しした。十分理解が得られなかった点は反省する。

公平公正な市民福祉サービス提供について

質問 市民交流プラザ「かたらい」の浴室利用が4月1日から毎週日曜日が休業日となった。日曜日の利用者から「暑くなる、お風呂に入りたい。何とか市にお願いして」と要望が多くあった。市民のささやかな願いを何とかして貰いたい。



市民交流プラザ

答弁 お風呂は7日間ある。風呂の掃除、平日は3人対応。働き方改革で職員の休みを確保する必要がある日曜日を休みとした。



笠継 健吾 議員

ふるさと納税の取組みについて

質問一 本年度以降実施される増税にはどのようなものがあるのか。

答弁 後期高齢者医療保険は、現役世代の負担上昇を抑えるため値上げされるが低所得者は減額される。また介護保険料も基準額に据え置かれるが、所得額に応じて高所得者は増税されるが低所得者は減額される。国民年金保険料は昨年度より値上げされるが、給付額は増額される。また子ども子育て支援金制度の成立により児童手当等の拡充が図られ、この財源として社会保険料からの徴収が

地域の実情に応じて可能な限り早期の実現を目指し取組んでいる。

質問二 現在の活動内容はどうか。

答弁 外部指導者として西部中3名、東部中1名に指導して頂いている。

質問一 地域でのスポーツ活動をされている公共施設使用料は、免除をする等考えがあるか。

質問二 部活の地域移行を進める中、せめて子供のスポーツで利用の場合に、強く免除を求めるがどうか。

答弁 学校の枠を超えた中での協議となり、社会体育施設を含めて検討をすることになる。



樋口 作二 議員

圧迫される市民の暮らし

市民生活における様々な値上げについて

質問一 本年度以降計画されている公共料金の値上げにはどのようなものがあるか。

答弁 電気料金は、大手電力会社全てで値上げされる。燃料の高騰に加え、政府による補助金の減額が大きく、6月使用分の電気料は大きく値上がりする。また、水道料金も7月使用分から値上げされる。プロパンガスも値上げが検討されている。郵便料金は、SNS等の普及で需要が減り、本年10月からはがきが85円、封筒が110円に値上げされる。また医療関係者の人材不足等が原因で、診療報酬も値上げされる。

質問二 食品などの生活必需品は何かどのような原因で値上げされているのか。

答弁 加工食品のほとんどが値上げされているが、これは原材料の高騰、円安、物流の増加などが原因である。

質問 本年度以降実施される増税にはどのようなものがあるのか。

質問 本年度以降実施される増税にはどのようなものがあるのか。



伊東 茂 議員

ふるさと納税推進事業について

質問一 ふるさと納税基金施行規則は見直すべき。昨年度、寄付金が目標10億円を突破した。今後とも同額以上を維持できると考えれば、基金の活用基準を見直す時期に来ていると感じる。市民生活向上（教育・高齢者福祉）に重視した施行規則に見直すべきである。

答弁 業の採択を受けることになったので9月補正で提案できると考えている。

質問二 今後も寄付額を伸ばす企画が必要。県内他市は寄付額を20～30億円と伸ばしている。鹿島市も更なる魅力ある返礼品開発や情報発信に取り組むべきである。

答弁 今年から出版社とタイアップし、SNSで世間の思考や行動などに影響を与えるインフルエンサーに鹿島のPRを依頼する。加えて、魅力ある返礼品の強化に努める。

質問三 太陽光パネル設置補助金の新設を求む。10年前、実施したりリフォーム補助は好評で市内の経済効果も高かった。光熱費の高騰は家計を圧迫している。太陽光パネル設置費用の三分の一程度の補助を行い、地元業者限定の設置を要望、経済効果を期待したい。

答弁 国重点加速化事業の採択を受けることになったので9月補正で提案できると考えている。

質問四 太陽光パネル設置補助金の新設を求む。10年前、実施したりリフォーム補助は好評で市内の経済効果も高かった。光熱費の高騰は家計を圧迫している。太陽光パネル設置費用の三分の一程度の補助を行い、地元業者限定の設置を要望、経済効果を期待したい。

答弁 国重点加速化事業の採択を受けることになったので9月補正で提案できると考えている。

質問五 公園の安全性の確保。市内7カ所の都市公園、8カ所の児童遊園の樹木・芝生の管理、遊具の安全性管理などマニニアル化されているのか。

答弁 児童遊園の遊具には使用上の注意を促している。都市公園の遊具については早急に表示する。害虫対策は業者による消毒を実施している。スズメバチを発見した場合は専門業者に駆除を依頼する。

質問六 公園の安全性の確保。市内7カ所の都市公園、8カ所の児童遊園の樹木・芝生の管理、遊具の安全性管理などマニニアル化されているのか。

答弁 児童遊園の遊具には使用上の注意を促している。都市公園の遊具については早急に表示する。害虫対策は業者による消毒を実施している。スズメバチを発見した場合は専門業者に駆除を依頼する。



池田 廣志 議員

人口減少が進む中、鹿島市を活性化するための取り組みについて

質問一 秋田県にかほ市との地縁・血縁とゆかりを活かして、世界的な企業誘致に繋げるべきだと思うが。

答弁 秋田県にかほ市総合政策課との協議では、「市長同士の面会を始め、担当課同士の協議を続けていく中で、市民の交流に結び付けることが重要と確認し、企業誘致までには、時間が掛かる。」としている。

質問二 鹿島市内に残っている技術や芸能等を今後、市の宝物として、確実に後世に伝えていくことが、重要と考えている。また、市内の大小河川に小魚が、殆ど居ない。市内の環境対策は、どうなっているのか。

答弁 昔から残っている技術や芸能等の文化財は、現在まで守り伝えられてきた貴重な財産なので、

次世代に確実に継承していく。さらに、高齢者の方々に引き継がれてきた「ものづくりの技法」も調査していく。なお、環境対策については、山間部を含め、耕作放棄農地周辺の環境整備や水路の保全・管理を共同作業で管理されており、国、県の補助金を活用して、環境保全に努めている。

質問三 「道の駅鹿島」は、自然豊かで魅力的な有明海の情報発信基地として、多くの方から期待されているので、その活性化策は。

答弁 「道の駅鹿島」は、今年で30周年を迎え、駐車場出入り口及び駐車場敷地の大規模改修工事を行い、利便性が高まった。6月2日の「鹿島ガタリピックアップ」には、県内外を始め、海外からも多くの参加者で賑わった。そ

こで「千潟展望館」「千菜市」「千潟交流館・なな海」が、新たな道の駅の中心施設として、活性化しよう、地元と協議している。さらに市のホームページもアクセスし易い様に改善し、利用者増を図る。

質問四 今までの災害被災箇所を調査し、市民を災害から守る力強い取り組みを。

答弁 豪雨などの災害時には、市職員が現地調査し、県と情報を共有している。

質問五 「国道207号鹿島バイパス沿道の開発」と市ホームページの充実を。

答弁 「国道207号バイパス沿道」の開発は、農振除外等での法律が厳しいが、市のホームページは内容を充実させて、アクセスし易くする。



松田 義太 議員

鹿島市の政策課題について

指定管理者制度について

質問一 鹿島市の指定管理者制度の現状について伺います。

答弁 各地区公民館、生涯学習センターエイブル、体育施設等17施設に指定管理者制度を導入している。

質問二 各地区公民館、生涯学習センターエイブルについては、指定管理者制度を導入し約15年が経過した。地区公民館については、地域住民の交流の場であり、地域事業（先日開催された能古見地区のあじさい祭り等）の開催についても中心的な役割を果たされている。また、エイブルも同様、鹿島市の文化事業の拠点として子どもから高齢者まで親しまれる施設になっている。今後、事業

の充実・発展を考えていくならば、人材の確保育成が重要である。しかし、人件費については指定管理当初から据え置きされてきた。令和6年4月1日、総務省より指定管理者制度等の運用の留意事項として、人件費については指定管理者の継続的な人材確保を通じて施設運営の安定を図る為、賃金水準の変動等を踏まえ適正に積算し指定管理料に反映する必要があるとしている。市の考えについて伺う。

答弁 指定管理料の人件費については、賃金・物価の上昇を考慮し検討していきたい。

質問三 SAGA2024国スポ全障スポの取り組みについて

質問四 SAGA2024国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会の開



アーチェリー競技会場

催が間近に迫ってきている。この大きなスポーツの祭典を成功に導くためには、市民の参加協力が大変重要である。市民・関係者・行政が一体となって連帯感を高めていくためには、今まで以上に大会周知のために、市のライン（手のひら市役所）SNSの活用含め情報発信の強化に努めてもらいたい。

答弁 市報等アナログ、SNS等のデジタル双方を活用し、市民への周知に取り組みしていきたい。



宮崎 幸宏 議員

第8次鹿島市総合計画における都市基盤の整備方針

質問 JR長崎本線の利便性が低下したうえ約20年後にはJR九州からの経営分離が予定され鉄道による交通手段が保持できなくなる一方、有明海沿岸道路等の広域高速道路ネットワークの形成と自動運転の技術革新が進んでいく社会情勢や産業構造の変化を捉えて、鹿島市の将来に向けた都市基盤の整備方針をどのように考えているか。

答弁 肥前鹿島駅や肥前浜駅、市役所周辺に人口密度を集中させ都市機能を維持し、交通ネットワークを構築するコンパクトなまちづくり計画を進めていく。

質問二 広域幹線道路の整備を見据えた土地利用

質問三 現在事業中の有明海沿岸道路に加えて、待望の国道498号鹿島武

雄間のルートが提示されたことにより鹿島市に関する広域幹線道路の整備動向が見えてきた。課題である浸水対策等のインフラ整備を行い、広域高速道路ネットワークを活用した国道207号鹿島バイパスの沿道開発を進めて鹿島市の発展を目指すべきではないか。

答弁 本年度「中村・乙丸浸水シミュレーション事業」により雨水対策の検証を行い、有明海沿岸道路等の整備動向を見据えた鹿島バイパス沿道の土地利用を検討する。当面の間は現行法での土地利用を行い、転用案件毎に農業振興地域から除外し農地から宅地に転用をしていく。

質問四 鹿島市の水災害対策

質問五 鹿島市にとって、災害による被害を最小限

にするために水災害に対する備えが重要である。水災害に対するリスク管理（事前対応）及び防災・減災対策をどのように対処しているか。

答弁 鹿島市地域防災計画に基づき、梅雨・台風期前の災害危険箇所点検及び自主防災組織の防災訓練、排水ポンプの操作確認等を実施して防災意識の向上を図っている。さらに治水施設の整備として、排水ポンプ施設の定期点検により改修等を適宜実施し、計画的に更新している。

また、嬉野市による上流域側の塩田町域における排水ポンプの早期稼働や農業用水路の流量調整等の協力を得て、流域治水を講じている。

議会あれこれ (令和6年4月～6月)

4月

- 2日 議会だより編集会議
- 9日 議会だより編集会議
- 12日 佐賀県市議会議長会
- 24日 地域交通まちづくり特別委員協議会
- 25日 九州市議会議長会定期総会

5月

- 2日 臨時議会運営委員会
- 8日 文教厚生産業委員協議会
- 17日 地域交通まちづくり特別委員会行政視察
- 21日 佐賀県市議会議長会
- 22日 全国市議会議長会定期総会
環境未来都市特別委員協議会
- 23日 文教厚生産業委員協議会
- 24日 議会運営委員会
- 29日 全員協議会
文教厚生産業委員協議会
総務建設環境委員協議会

6月

- 4日 全員協議会
- 5日 議会運営委員会
- 7日 6月定例会 開会
文教厚生産業委員協議会
- 13日 6月定例会 議案審議
臨時議会運営委員会
全員協議会
- 19日 6月定例会 一般質問 (～24日)
- 26日 6月定例会 閉会
全員協議会

行政視察受入状況(令和6年4月～6月)

5月14日 岡山県高梁市議会 総務文教委員会 (7名)

議長交際費を公表します。

金額単位：円

	4月		5月		6月		合計	
区 分	件数	金 額	件数	金 額	件数	金 額	件数	金 額
弔 意	0	0	0	0	0	0	0	0
見舞い	0	0	0	0	0	0	0	0
祝 儀	1	3,000	0	0	0	0	1	3,000
会 費	1	2,000	1	4,000	4	24,000	6	30,000
接 遇	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	2	5,000	1	4,000	4	24,000	7	33,000

鹿島市議会 SNS はじめました

皆様に鹿島市議会の活動を広く発信するために、FacebookとInstagramを開設しました。このSNSは市議団で運営をしています。友達追加やフォロー等よろしくお願ひします。

鹿島市議会広報
Facebook



鹿島市議会広報
Instagram



@KASHIMASHIGIKAI

お問い合わせは鹿島市議会事務局 0954-63-2104まで。



令和6年度かしま議会だより編集委員会メンバー

編集後記

新年度になり、「かしま議会だより」の編集を左記の5名が担当することになりました。

我々の仕事は、紙面割り、誤字脱字、おかしい表現や言い回しのチェックをするというもので、記事の内容に関しましては各々の議員の責任をもって掲載するという事になっています。

議会を身近に感じて頂きたく、読み易い紙面づくりに努めてまいりますので、ご意見ご感想等を頂ければと思います。

一年間どうぞ宜しくお願い申し上げます。

令和6年度 かしま議会だより編集委員会

委員長	勝屋 弘貞
副委員長	宮崎 幸宏
委員	松尾 征子
委員	杉原 元博
顧問	中村 和典

※この議会だよりは、全て原稿提出者の責任により編集されています。